



### 児童向け自転車ヘルメット まずは聞き取り調査実施へ

竹田 陽介 議員《新政いさま》

平成20年6月1日の改正道路交通法施行により、幼児及び児童（13歳未満）に対するヘルメットの着用が努力義務とされていますが、ある民間会社の調査によると、ヘルメットの着用率は4割程度とのことです。本市における幼児及び児童の自転車用ヘルメットの着用率について、アンケート等の結果があればお示ください。

また、ヘルメット着用率を向上させるために、購入助成等があってもよいと思いますが、当局の見解を伺います。

**市民部長** 現在のところ、自転車用ヘルメットの着用率についてのアンケート等は実

施していません。

しかし、自転車用ヘルメットの着用は、自転車に乗っている本人の被害を軽減するために非常に有効であり、重要なことと考えています。

したがって、実態を把握し、適切な対策を展開していくための材料として、アンケートの実施を検討したいと考えます。また、実施の際には、保護者の意識についても実態を把握できるように工夫したいと考えています。

自転車用ヘルメットの購入助成については、ヘルメットの重要性は十分に承知していますので、他市の状況を調査し、慎重に研究していきます。

### 要介護者を持つ 「家族」への事業展開を

星野 久美子 議員《日本共産党》

本市の高齢化率は本年3月現在24・1%です。加速度を増した超高齢社会では、国・自治体の役割が大きく問われてきています。介護を社会全体で支えることを目的として2000年4月に始まった介護保険制度は、介護保険事業計画が3年ごとに改定され、利用者や家族の負担が重くな

のサポートがなければ、家族にも本人にも取り返しのつかないこととなります。要介護者を持つ家族は大きな負担と

になっていくのではないのでしょうか。行政として要介護者を持つ家族を対象としたレスパイトケア（一時的な休息支援）を重視した事業が必要と考えますが、見解を伺います。

**健康部長** 介護保険制度において、デイサービス等の利用で、一時的に介護から開放され、休息がとれる支援を行っています。今後は多様なサービスを検討する中で、家族支援についても課題として取り上げていきたいと考えます。



### 優しい子供を育む 夢のある公園環境について

松橋 淳郎 議員《さま大志会》

次世代の子供たちの心に何を残さなければならぬかを考え、公園について伺います。以前の座間公園には、鹿や猿、馬等が飼育されており、人々に癒やしを与えていましたが、現在では、一般市民に親しまれながら共存していた動物たちの姿はありません。動物たちが消えてしまった理由と行

現在、栗原の調整区域にポニーが農業者と静かに暮らしていますが、市内の都市公園内でのポニーの散歩及び馬車の運行の可否について伺います。また、仮にポニーの寄附について話があった場合の対応についてもお示しください。

都市部長 座間公園で飼育されていた猿は15年ほど前に静岡県の波勝崎苑に引き取られ、鹿は老衰等で亡くなり

した。馬は約45年前に飼育されていたと聞いていますが詳細は不明です。今年度、鹿や猿、馬の飼育施設はありませんが、ウサギ小屋を改修し、小動物に接することができるよう施設として整備しています。

市内の都市公園内でのポニーの出入りや馬車の運行については、座間市都市公園条例の規定上難しいものと考えています。ポニーの寄附については、現在大型動物を飼育できる施設がないため非常に難しいと考えています。

### 市民活動サポートセンターへの 生涯学習団体の登録の可否を問う

佐藤 弥斗 議員《さま大志会》

生涯学習の推進は健康文化都市の実現や地域包括ケアシステムを構築する上で大変重要であると考えます。生涯学習プランの中では市民活動サポートセンターやコミュニティセンターとの連携が明記されています。過去の定例会での議論の中で「生涯学習団体は公益的活動として捉えている」という旨の答弁がされており、営利を目的としない生涯学習団体は市民活動サポートセンターに登録することが

できるのではないかと考えますが、見解を伺います。

**市民部長** 市民活動サポートセンターに団体登録するための要件は、市民活動を行っ

ていること、非営利活動団体であること、組織運営についての要件を満たしていること、活動の中に社会貢献活動が含まれていること、協働で住みよいまちづくりを推進していく、または推進しているという考えを持っている団体であることです。

現在、生涯学習団体の市民活動サポートセンターへの登録は行っていませんが、みずからの学びの場から一歩踏み出して、生涯学習団体が不特定多数の利益のために活動し、市民活動サポートセンターへの登録団体としての要件を満たす場合は登録が可能となります。

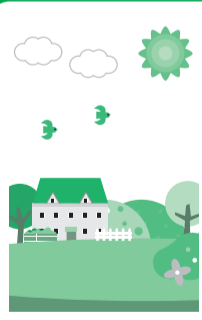
## 議会を傍聴しましょう

市議会で開催される会議（本会議・委員会）は、傍聴することができます。本会議の傍聴は、市役所7階の議場入口正面で受け付けしています（各委員会の傍聴は、6階の議会事務局にお申し出ください）。受付で住所・氏名のご記入をお願いします。

## 請願・陳情の 提出について

第2回（6月）定例会で審査をする請願・陳情は、5月18日（水）までに議会事務局へご提出ください。

なお、定例会ごとの締め切りについては、議会事務局にお問い合わせください。  
☎046(252)8872



## 平成28年第2回定例会の開催予定

- 5月20日（金）議会運営委員会
  - 27日（金）本会議（開会・提案説明・総括質疑）  
予算決算常任委員会（本会議終了後）
  - 6月3日（金）本会議（一般質問）
  - 6日（月）本会議（一般質問）
  - 7日（火）本会議（一般質問）
  - 9日（木）予算決算常任委員会企画総務分科会、企画総務常任委員会  
予算決算常任委員会健康福祉分科会、健康福祉常任委員会
  - 10日（金）予算決算常任委員会教育市民分科会、教育市民常任委員会  
予算決算常任委員会都市環境分科会、都市環境常任委員会
  - 13日（月）基地対策特別委員会  
議会改革特別委員会（午後1時～）
  - 15日（水）予算決算常任委員会
  - 17日（金）議会運営委員会
  - 21日（火）本会議（討論・採決・閉会）
- ※会議は、午前9時に開会する予定です。

## 陳情の結果

3月定例会の各委員会で審査した陳情は、次のとおり決まりました。

### 採択

**陳情第45号** 介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現を求める意見書提出を求める陳情

**陳情第50号** 軽度外傷性脳損傷・脳震とうの周知と予防、その危険性や予後の相談のできる窓口などの設置を求める陳情

**陳情第51号** 精神障害者の交通運賃割引制度の適用を求める意見書の提出を求める陳情

**陳情第52号** 国に対して消費税増税を中止する意見書の提出を求める陳情

**陳情第53号** 国に対し消費税増税中止を求める意見書の提出を求める陳情

**陳情第22号** 子宮頸がん検診対策の充実を促進し、HPV予防ワクチンを接種した子供たちへの調査を求める陳情

**陳情第23号** 子宮頸がんワクチン事業の一時中止を求め、早急な調査を開始する意見書を国に提出することを要望する陳情

**陳情第35号** 座間市議会議員定数削減についての陳情

**陳情第41号** 民意を狭め、エック機能を弱める議員定数削減に反対し、より充実した議会活動を求める陳情

**不採択**

**陳情第52号** 国に対して消費税増税を中止する意見書の提出を求める陳情

**陳情第53号** 国に対し消費税増税中止を求める意見書の提出を求める陳情

**継続審査**

**陳情第22号** 子宮頸がん検診対策の充実を促進し、HPV予防ワクチンを接種した子供たちへの調査を求める陳情

**陳情第23号** 子宮頸がんワクチン事業の一時中止を求め、早急な調査を開始する意見書を国に提出することを要望する陳情

**陳情第35号** 座間市議会議員定数削減についての陳情

**陳情第41号** 民意を狭め、エック機能を弱める議員定数削減に反対し、より充実した議会活動を求める陳情